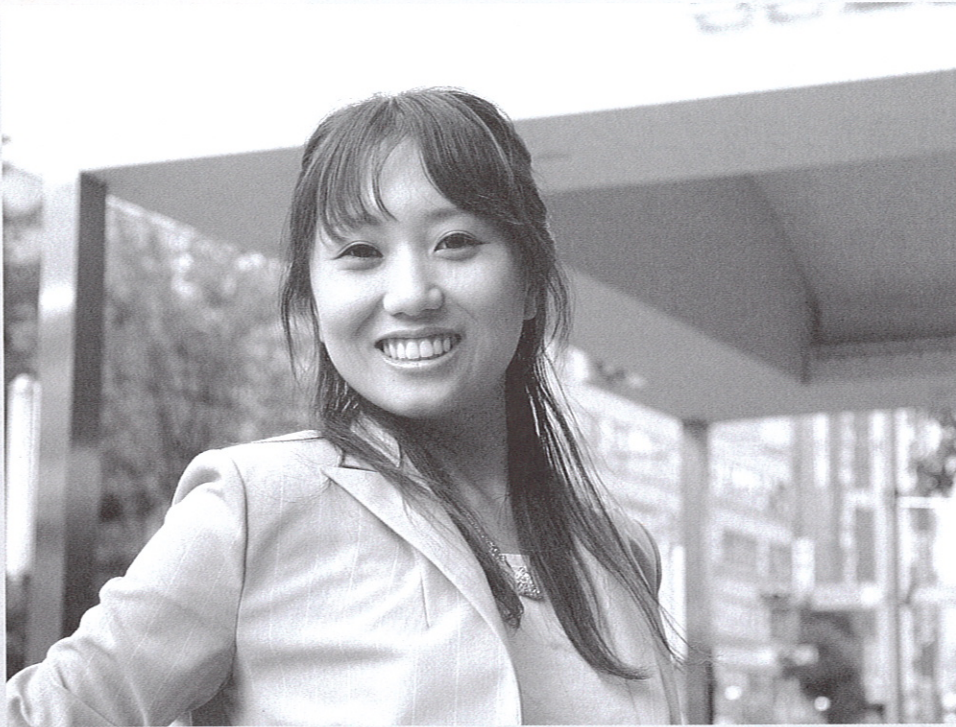


『知る人ぞ知る』存在に

成和物産
貿易2部

任聖枝(イム・ソンジ)さん



「今日はよろしくお願いいたします」

華奢(きゃしゃ)な体を折り、深々とあいさつする。差し出された名刺を見るまで、彼女が韓国人とは気づかなかった。

——日本語がお上手ですね。

「そうですね?いつも不安な気持ちです。相手に話が正しく伝わっているかどうか」

遠慮がち、控えめ。漢字の意味は理解できる。が、敬語の使い方は今も苦労する。



◇ 韓国のソウルに生まれ、大学で日本文学と文化を学んだ。日本の文化が徐々に解禁され、輸入された漫画やアニメは韓国でも人気があり、料理がテーマの『美味しんぼ』は、「全部読みました」。日本に留学し、日本語にさらに磨きをかけた。

——どうして日本に興味を?

「尊敬する父のようになりたいたいと思ったから。韓国と日本の両国で人脈を築き、ビジネスを成功させる。そんな父の姿を、

子どものころからずっと見ていましたから」



◇ 父の紹介で、今の職場へ。「忙しいけど楽しい」と話す。社長以下、社員がみな家族のような職場で、助け合いながら仕事を進めている。

「サンドイッチ食べますか?」と手渡された。聞けば、この日は忙しく、昼食を食べそこねたという。忙しければ忙しいほど、努力すればするほど充実感に変わる。

「機械や部品が動くのを見るのが面白い。仕組みが理解できたら、さらに面白くなった」と笑う。

——将来の夢は?

「業界で『知る人ぞ知る』存在になれるよう頑張りたい。父のように」

3年目の夏が、間もなく終わる。去年よりひと回り、成長できたと思いたい。

(長谷川 仁)